

園だより 9月

令和6年9月2日
台東区立田原幼稚園
TEL 3842-6477



さあ2学期が始まったよ

園長 宇塚 華子

まだまだ暑いですが、空が高くなり少しずつ夏の終わりを感ずる頃となりました。「おはよう。」「おはようございます。」と一回りたくましくなった元気な声が幼稚園に響いています。

「なんで〇〇したの？」

おうちの人が大好きな子供たち。幼稚園閉鎖日明けの8月16日に、久々の登園時に泣いてしまう子もいました。でも、泣かないですぐに遊び出す子も。その中の一人に「なんで泣かなくなったの？」と聞いてみました。その子は、少しはにかんだ後「もも組になったから。」と恥ずかしそうに答えました。「そうか、もも組さんのお兄さんになったから、もう泣かないんだね。流石だね。かっこいいね。」と私が言うと嬉しそうでした。

「なんで〇〇したの？」は、悪いことをした時ではなく、良いことをした時に言う方が有効なことが多いと感じます。理由を子供なりに考えることで、その行動が強化されるようです。

幼稚園の1日

7月の終わりに、公立幼稚園の1日の様子を紹介するためCATVのクルーがやってきてばら組さんを中心に子供たちの様子を撮影しました。また、それを基に区内の園長先生がナレーション原稿を作成してくださり、8月に私が、ナレーションを付けました。改めて、VTRを通して園での1日を俯瞰してみると、本当に子供たちの顔が生き生きとしていることに感動しました。そして、本園が掲げている「主体的に遊ぶこと＝主体的に学ぶこと」が見事に映像化されていることに感動しました。

もちろん、他の園の様子も写真で紹介されており、各園の園長も出演しています。それぞれの園の良いところもたくさん紹介されています。放送日時が決定しましたら、またお知らせいたします。楽しみに。

主体は子供

「10月は運動会だね。」と先生たちは子供たちに言いません。「運動会をやろう。」と子供たちが言うまでは、準備を陰で進めています、待っています。あくまでも主役は子供たち。運動会を子供たちの主体的な活動にするためには子供たちからの提案を待ちます。今年は、いつぐらいに「運動会をしたい！」と話がまとまるかな。

